

「だいじょうぶ。君のとなりにいるからね」

足元に伏せ、子どもを見上げる。虐待などの被害を受けた子どもたちが司法の場で証言する時、安心感と心の支えになる付添犬。つらい思いをした子どもたちに寄り添う「付添犬」誕生の事実を元にした物語。巻末には解説がついているため詳しく知ることもできる。犬の癒しの力と奮闘する大人たちの心温まる物語である。

書名：『いっしょにいるよ
—子どもと裁判に出た犬 フランとハッシュの物語』
著者：涌井学 すすめする人：安田真以香

苦しみも覚悟して楽しめば、誰でも幸せに！

幸せとはなんだろう？いつも考える。幸せの感じ方は千差万別だ。悲劇のヒロインになるか、敵を次々倒すヒーローになるかは自分次第。顔に障がいがあっても、覚悟を決めて前向きに生き、大きな壁を乗り越えてきた人は優しく魅力的だ。人の幸せとは何か、人生に於いてどんな困難があっても受けて立つぞ！と思える一冊だ。

書名：『顔二モマケズ
—どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語』
著者：水野敬也 すすめする人：牧村幸

ロボットの思いやりがみんなを変えた！

これはちょっとやさぐれた男とロボット、彼らを取り巻く周囲の人々の、友情物語です。主人公・植木也太に購入されたAIロボットのシロ。最初は息が合わず、イライラしたり、ムカついたり、返品しようかと考えたりしたが、徐々に息がぴったりの相棒となる姿が描かれています。そんな2人の勇気と活躍をぜひご覧ください。

書名：『93番目のキミ』
著者：山田悠介 すすめする人：石川結菜

ホラーでSF、『新ウイルス』誕生の物語。

リングと言えば超有名だけど、原作小説を読んだ人は、少ないのでは？「恐怖の貞子」の衝撃が強い映画等とは、少し違う。未知のものに触れる時、人は恐れる。と同時に、驚きと好奇心を抱く。本作品で描かれる「新ウイルス」の増殖戦略は、既存の概念を超えるものだ。読後、世界の見え方が変わる。未知へと誘う一冊だ。

書名：『リング』
著者：鈴木光司 すすめする人：小瀬木里枝

あなたは心に巣食う猛獣を従えていますか？

人間が虎になる。もちろんそんな事は現実には起こるわけではないが、虎のような猛獣は誰でも心の中に潜んでいる。主人公の李徴はその猛獣を従えきれず飼いたらせ、ついには虎になってしまった。なぜ李徴は猛獣を従えきれなかったのかそもそも心の中に潜む猛獣とは一体なんなのか、自分の生き方を見つめさせ一歩大人にする一冊。

書名：『山月記』

著者：中島敦

おすすめする人：長谷川拓哉

日々の隙間に、大きな世界が広がっている。

きつねの母と人間の父を持つ信田家。その一家の三兄弟を中心に起こる様々な問題。マンションの一室から大きな世界が広がっていきます。コロナ禍で窮屈な日々の中でも、信田家の子どもたちを通して大冒険をすることが出来ると思います。大人になるにつれ忘れてしまう冒険心を呼び起こされる作品です。

書名：『チビ竜と魔法の実』

著者：富安陽子

おすすめする人：林岳大

最後1ページで分かる知りたくない真実

この事件の犯人は「蒲生稔」です。これはネタバレではありません。そう、この小説で騙される箇所はそこではないのです。ではどこで騙されるのか、それは最初からです。吐き気がする描写や、稔の歪んだ心情の気持ち悪さ、胸糞悪い真実。刺激が強い所もありますが、すべてがわかったときの衝撃をみなさんも堪能あれ。

書名：『殺戮にいたる病』

著者：我孫子武丸

おすすめする人：成瀬心遙

余命10年、ありふれた毎日が輝きだす

20歳の茉莉は、不治の病にかかり、余命が10年であることを知る。未来への諦めから淡々とした日々を過ごす。そして、恋はしないと心に決める茉莉だったが……。限られた時間で紡がれていく愛の物語です。「普通」がどれだけ貴重で大切なのか思い知らされます。10年という長く短い時間をどう生きるのか注目してみてください。

書名：『余命10年』

著者：小坂流加

おすすめする人：原綾子